公民館報

喬木村公民館:長野県下伊那郡喬木村6664

の時まで、わたくしの家で働 しが生まれた時から十五才

カラスがついてくるのでし

間に私の家にくるので、私

小林は毎朝決まった時

さきになって、いつも一羽の

「その小林の赤い車のあと

うな顔をしていうのでし 林はいかにもすまないよ だでなあし』と人のいい小 だけはだめ、これは私の妹

「…小林千代男は、わたく

「赤い箱車」とは何でしょ

のせた荷車、これが「赤い箱 り歩くのです。この赤い箱を

昭和二十四年四月号

入れて荷車をひきながら売

ニャクやイモコンニャクを

あげもしましょうが、この黒

や、わしはこの赤い箱車なら

「『坊ちゃんがほしいとい

椋鳩十顕彰会

久 保

田

毅

掲載作品

ないか」と頼みます。

てたまりません、「僕にくれ

私はそのカラスがほしく

いな箱車をこしらえまし 林は、赤ペンキをぬったきれ いてくれた男でした。・・・・小

の上にとまって、カアワカア

ワと鳴いたり、あるいは小林

くい先にくばる間、赤い箱車 た。小林がコンニャクをおと

その箱の中に黒い皮コン

の肩にのっかっておともを

毎朝毎朝くりかえしてい 食べさせたかったのです。 にしました。自分の手から らえてカラスを待つよう は小さいおだんごをこし

椋鳩十記念館・図書館長 いただきました。 大 ことが大切だと」と結んで 原 文

発 行 日 2015年12月16日 発行責任者 喬木村 原 美 公民館編集部長 編集責任者 久 仲 田 龍共印刷株式会社

第二十八回「椋鳩十夕やけ 今年も喬木第一小学校合 が、福祉センターにお 月二十一日(土)に

り、栄えある「椋鳩十賞 さん(喬木中二年)が受賞さ 般まで五〇五点の応募があ ん(第二小六年)が「優秀賞」 れました。また松下陽香さ ん(第一小一年)と田中詩野 に喬木村からは村澤和歩さ 声で開会式が始まりました。 の栄冠を手にされました。お 唱部のみなさんの美しい歌 ンクールは、小学生から 第二十八回読書感想文コ

名の方に感想文を発表して めでとうございます。 では、『片耳の大シカ』の舞 お互いに助け合う

小島清弥さん(松尾小四 節目の年でもあります。 年)は「マヤと主人公が過ご ○年。そして戦後七○年の した日々」を発表しました。 今年は椋鳩十の生誕一 田中詩野さん(喬木中)

姶良市加治木に住んでいま 村小五年)は、昨年まで椋鳩 十の第二のふるさとである 大﨑逢さん(福岡市立田

台となった屋久島の厳しい | 人間も動物も優しさを分か 受賞作の「たすけあい 然環境にも触れながら

年)は『屋根うらのネコ』を ていました。 コに対する思いが変わって の姿に驚き感動し、ぶちネ めに行動する母ネコとして 読んで、子ネコを育てるた いく様子を素直な言葉で語っ 「熊野犬」は

短編です。 原作となった ヤの一生の の代表作『マ 椋文学の戦後

突然、暴力的 運命の前に、 生涯は、戦争 に断ち切られ という過酷な 愛犬マヤの

> たことを信じている」と 絵本読み語りの旅でい!喬 の記念講演会「おっと痛快 感想を記しています。 くて美しい物語が本当にあっ このような犬と人間の悲し は戦時中の日本において もつ意味に深く打たれ、「私 木の宿」がありました。 三時からは飯野和好さん 田中さんは、この作品の

> > み語りに魅了された一時間

飯野さんのおはなしと読

り上がりました。

るようで、会場は大いに盛 るで時代劇の舞台を見てい

半の講演会でした。

また、今年は夕やけ祭特

のあさたろう」では、股旅 おなじみの「ねぎぼうず

癒し系の猫の彫刻も保育園 シカやツキノワグマも登場。 うぶつ彫刻展」を開催しま ギャラリーでは「林湜和ど 別展として、椋鳩十記念館

椋文学でおなじみの

児に大人気でした。 は、このような形で受けつ 子の二十分間読書」の活動 椋先生が提唱した「母と

げていただいた皆さん、実 者の皆さんに心からお礼を 行委員をはじめとする関係 やけ祭」に参加して盛り上 最後になりましたが、「夕



るようになりました。 るうちに私の手から受け取

したりするのでした」

人なつっこいカラスです

いだといってアユをいっぱ 来ました。 かりで、一直線に家に帰って みには、カラスのことが気が 小林は無事に帰ったお祝

れました。もちろ い持ってきてく くしは食パンを んカラスもいっ しょです。「わた

[『おい黒公』小林はこう

行くことになりました。夏休 私はその後東京の学校へ しの腕にとびのって、それを の上で小首をかたむけてい 月もおぼえていたのです。 食べました。」カラスは四か ました。が、ぴょいとわたく せました。カラスは小林の肩 手の平にのせて、カラスに見

> 体の日頃の活動 数展示され、そ 等の力のこもっ

しませてく

れました。 くの人の目を楽

ラスは?」わけを聞きます ます。私は後を追って行きま 食って死にかけております」 ズミ取りで死んだネズミを しょに来ませんでした。「カ た。しかし、あのカラスは アユを持って来てくれまし そういって帰ってしまい 「あの食いしんぼうめ、ネ

した。カラスはざぶとんの上 にぐったりして横になって

よく年の夏休みも小林は

ちゃんとあかね』の最後、ネ ラス、その様子に大つぶの涙 との絆の強さを感じます。 を落とす小林、カラスと人間 コと人間の絆を思い出しま 動物はちがいますが『モモ 小林の親指をくわえたカ ロリ、ポロリと落とすのでし やけた頬に、大つぶの涙をポ 指をクチバシでくわえたか けました。そして、小林の親 小林はこういうと、あの日に のばしました。『おい、こら、 と思うと、全身をぶるぶると をさしだしました。カラスは、 ふるわして、両足をつーんと 小林の手の平の上に頭をのっ いって、カラスの前に手の平 このやろう、死んじもうのか』

た係の皆様のおかげですば 文化祭運営にご協力いただい なりましたが、 場を盛り立ててくれました。 する団体もあり、 けでなく初出場や他と共演 いただき大変賑 がさまざまな趣向により会 ご参加いただいた各団体、 ○○○人近くの 芸能大会には三日間で延べ二 ご来場いただ 芸能大会は常連の皆さんだ 最終日はあいにくの雨と 作品展示・ いた皆様、 わいました。 方にお越し なり感謝申 それぞれ

十一月七日・八日の二日 文化祭に出かけよう!口笛を吹いて!」 っと変わらずに優しい商木村が が好き

味線の弾き語りを熱演、ま

姿の飯野さんが、手作り三

ました。 間(作品展示は十一月六日 育館周辺を会場に開催され 総合文化祭が、中央社会体 より三日間)、恒例の喬木村

団体という多くの皆様に参 加していただくことができ いいもの物産市 体、芸能大会には十五団体、 作品展示には三十八団 には三十六

公民館

第二小学校 銀嶺太鼓 るよう、 どに取り組 会部では作 みました。 日の運営な 日準備・当 でいただけ 祭を楽しん 能大会を通 皆様に文化 して多くの 品展示と芸 前

の成果が多 れぞれの団 た作品が多 では保育園 作品展示 各クラブ

・学校や各分館

事を進めることができれば、 で自分が思い描いたように ない例えです。物事を完璧に 使い方があります。詰めが甘「画竜点睛を欠く」という

くれているのだと思います。組むことの大切さを教えてとして新たに前向きに取り 一年を締めくくって下さい。最後の詰めをしっかりして という言葉もありますから、終わりよければ全てよし 物事を完結させ、それを土台

あ の の時 時

事件など痛ましい事件が続めたと所ですが、フランスでのテロやかに生活できたらと願う

て良い 成二十七年はみなさんにとっ ぎります。この言葉は物事を 竜点睛」という言葉が頭をよ か。 き心が乱されます。今年もあ げが大切だという例えです。 完成させるには最後の仕 とわずかになりましたが、平 年末や年度末になると「画 「睛」というのは瞳のこと 年になったでしょう

の名人が都の梁の金陵寺の(ちょうそうよう)という絵で、中国の六朝時代、張僧繇 壁に四 去ってしまうと言って瞳をすが、瞳を入れると竜が飛び 入れませんでした。 頭 の竜を描いたので

が天に昇ったという逸話かとたん、瞳を入れた二頭の竜とたれ、瞳を入れた二頭の竜 を思います。 お年を迎えていただきたい が年を迎えていただきたい と思います。 り返り、最後の一筆を加えて 平成二十七年を締めくくるらきたと言われています。 に当たり、皆さんも一年を振

くことができるはずです。の竜のように大きく羽ばた しいことなのですが、最後ま 仕上げていくというのは難 くて一つのことが完結でき 画竜点睛」とは努力して

る語のの語でお

感想文コンク

かなかわのなかでのんびり はなしをよんだとき、しず していて、どんなどんなけ ぼくは、はじめにこのお 喬木第一小学校 一年 村 まもりがみのかば

たら、



椋鳩十賞

かげでかばはこころがほっ

「かば森をゆく」

喬木村

としたとおもいました。

うをたおせました。ぼくは

うりょくしたから、くろひょ

ぱいでなかまどうしで、きょ

もいちまんもなかまのかば す。みずどりさんがかばに かばがせんもせんもにせん しらせにきて、いっぴきの いきもちだったとおもいま うぶつたちは、みんなこわ たべていました。もりのど ぶつたちをかたっぱしから くろひょうは、もりのどう ろひょうがやってきました。

をやっつけることができて

ていたかばが、くろひょう

「おばかなかば。」といわれ

は、いっぴきずつだからく した。ほかのどうぶつたち うをもりからおっぱらいま かまといっしょにくろひょ をあつめました。そしてな りもたのしくなり、ほかの うをやっつけてくれたから おしたとおもいます。 どうぶつたちもかばをみな かにされていたけど、みん うれしいです。かばは、 です。かばのおかげで、 なのために、つよいくろひょ かばは、「おばかのかば

よいもりのまもりがみだと ではなくて、やさしくてつ おもいます。

あげていて、かばは、やさ いたけどみずどりさんのお たちからは、ばかにされて いでした。ほかのどうぶつ をわかってくれているみた だちでした。かばのきもち さんだけは、かばのおとも いました。でも、みずどり しくてかわいそうだとおも もいわずにみちをゆずって たかもしれないけど、なに かばも、やなきもちだっ やなきもちになりま ろひょうにかてなかったけ

椋鳩十賞 「やねうらのネコ」 あすなろ書房

ちに「ばか。」なんていわれ

学年

3 年

6 年

1年

一般

しもぼくが、

ほかのひとた

わるをされていました。も

かのどうぶつたちからいじ

ゆっくりでのろまだからほ

ずってあげるかばはやさし おきなからだをどかしてゆ だものがやってきても、お

いとおもいました。かばは、

「やねうらのネコ」を読んで 飯田市立松尾小学校 四年

をとられたこともあります。 のネコにはかっていた金魚 ので、なでたりします。別 おなかを出してねころがる す。その内一ぴきがとても ネコが何びきか住んでいま 人なつっこくて、出会うと わたしの家の近くにのら ぶちネコが 一ヵ月間毎

かまりません。一ヵ月くら まい、わなをしかけてもつ いすがたが見えないと思っ 父さんのリスもとられてし とっていきます。太郎のお こくてにわとりとかを毎 いるぶちネコは、すばしっ 太郎の家の近くに住んで

もにげたり

人間がいて ぶちネコは たことです。 を育ててい

しないで、

学 校 名

福岡市立田村小学校

喬木第一小学校

松尾小学校

喬木中学校

長野市

学年

1年

4年

5年

2年

一般

ました。

で、子ネコ

215

えさを運ん

ないように 日気づかれ

たから読んでみようと思 た時、身近なネコの本だっ 夏休みの宿題でこの本を見 氏

岩田

久保

壬生こ ころ

吉田

賞

優

秀

賞

名

漣士

芽生

陽香

豊

学 校 名

東京学芸大学附属小金井小学校

竜丘小学校

喬木中学校

松川町

喬木第二小学校

氏

村澤

小島

田中

山口 真

賞

椋鳩十賞

にぶちネコと子ネコがいま

つけていた 目でにらみ らぎら光る

ために、わ

たら、太郎の家のやねうら

名

和步

清弥

詩野

ぎゃくにぎ

逢

島

ともしないで、ウウウウと

まねでおどしつけてもびく り、太郎がげんこつをする

した。 読み終わり意味が分かりま 意味が分からなかったけど、 した。わたしは最初、題名 に「やねうら」と出てくる

一番心にのこった場面は、

るので、わたしも太郎と太 ます。ぶちネコはとてもか がらどこかへ行ってしまい ととり、ゆっくりと歩きな す。少しのすきにえ物をさっ どしつけようとするネコで うなって白い歯をむき出し しこくてどうどうとしてい かえって太郎たちをお



も手を出さずにいて、すご の根もとにしゃがみこんで、 ウでした。ぶちネコは四、 ばいいなあと思いました。した時は、わたしもつかまれ いなあと思いました。 じて、牛肉がお でそのわなには ました。とてもりこうなの じっと様子をうかがってい 五メートルはなれた茶の木 てて、きつねわなをしかけ 郎のお父さんと いてかかったのは大フクロ かし、牛肉をつけて待って なりの野田さんははらを立 いました。お父さんとおと おどろいたやつ いてあって きけんを感 だな」と思

がこまり、



美しい歌声で開会行事に花を添えてくれた喬木第一小学校合唱部のみなさん

一しょで りに行ったと思いました。最 のが分かりました。 さんはとても子ども思いな ネコは、とても強くてかし たちのためにがんばるぶち なれたところに、えさを取 た。 こくていいなあと思いまし 大事に思う気持ちがつたわっ ていたけど、子ネコたちを 初は悪いネコだなあと思っ なのきけんのない家からは てきました。いろいろとき んはあったけど、子ネコ ネコにかぎらず、お母

コに話しかけてあげたいな のことも想像して、そのネ コも、どこかで子ネコを育 ちの金魚をとっていったネ と思いました。次来たらそ てているんじゃないかなあ もしかしたら、この前う たかぎ俳句クラブ

稻

月

E

か

椋鳩十賞

「片耳の大シカ」

理論社

たすけあ 福岡市立田村小学校 五年

は、すっかり狩人のやり口 を覚えてしまった大将だ。 て片方の耳を失っているこ 四、五年前に鉄砲で撃たれ この話に出てくる大シカ え切ってしまう。私は去年 まで鹿児島県に住んでいた ので、鹿児島に降る雨がど まともに動けないほどに冷 大だ 﨑

とから、「片耳の大シカ」と

き回り、三人で、作戦を実 の日も半日以上山の中を歩 うに手紙をもらって、一緒 ねらっている。主人公はお 行しようとたくらんでいる。 ころを見せてやろうと楽し じさんにシカ狩りに来るよ の吉助おじさん、次郎吉さ 呼ばれている。 みにしていたのだろう。こ んはきっと自分のすごいと についてきたのだ。おじさ んは、この片耳の大シカを 主人公と、シカ狩り名人 ろうと想像しながら読んで ないほどだ。だから、冬の う。雷は家の中で耳をふさ れたらどんなに恐ろしいだ 山でそんな雨や雷におそわ の大きな音と強い光で眠れ ぎ、 体をびしょぬれにしてしま

ところが、突然激しい雨と という主人公の言葉からも、 ついたのかわからぬ。」 まで、命が助かってたどり 必死でほらあなまでたどり して歩き、どうして、そこ 「ぼくたちは、どのように

撃とうとする。その時主人

るような雨は、一瞬で体全 ている。地面をたたきつけ んなに激しいものかよく知っ 目をつぶっていてもそ のぬくみで体が温まり、三 と私はとても驚いた。毛皮 カの毛皮で温められるとこ ずにただ静かにじっとして ろうと思った。が、何もせ 物たちは敵である人間が入っ 人は眠りにおちる。この場 体を温めてもらうなんて、 のであるシカにとびこんで ろだ。まさか人間が、えも に残った場面は、三人がシ いるだけだった。 あなには、三十頭近いシカ 着いたことが分かる。ほら てきたら、攻げきするのだ て体をこすりあっていた。 動 と十五、六頭のサルが集まっ この話の中で一番私の心

時は、お互いに助け合う心 動物も人間も本当に大変な を持っているのだと感心し いるような気持ちになった。 シカたちに温めてもらって 面を読んだ時、私もそっと やがて、三人は眠りから

われて、狩人の心が動く瞬 と言い、次郎吉さんは銃を さん。あの片耳の大シカの 置く。大シカたちに命を救 のじゃないのですか。」 ために今日は命が助かった 「あっ!よしなよ、次郎

最近、大雨や噴火のニュー

次郎吉さんがシカを るのだ。作者は、作品を通 動物に助けられることもあ ことを教えてくれたのだと け合うことが大切だという を分かち合い、お互いに助 して、人間も動物も優しさ 話の三人のように、人間が ように優しさがある。この などを聞いて、危険を知る。 るが、動物たちは自然の音 どで情報を知ることができ スを見た。人間はテレビな して、動物にも人間と同じ 人間よりも優れている。そ 大自然の中で生き抜く力は、

ISENEO

ふるさとづくりフォーラム実行委員会では喬 関係する皆さんから、喬木村の良いものを大募集し ます。皆さんご存知"おいしいイチゴ"から、私しか知らない、地区のみなさんしか知らない・・というようなめずらしい(レア)ものまで何でも自由に お寄せください。 「たかぎ」といえば?

おすすめのおみやげは? ____ 「たかぎ」自然がいっぱい゚ きれいな景色ってどこ?

みませんか。

季節の移り変わりは早く、

したいものです

ものになっていけるよう、

様の生活の中に、根づいた

公民館報がますます、皆

編集部として取り組んでい

きたいと思います。

来年は、もっ

といい年に

何か新しい事

でも始めて

の人間は敵も味 おこすもので、

人ひとり

Կորժհութակարդությունությունություն

じ人間同士なの

だという思 方もない同

私の償い。死ぬまで伝えて が私の夢。戦争に参加した 世代に伝えてほしい。それ

いが強く語られていました。

今年八月初め

に青木先生

とのメッセージを伝えてい

いきたいからがんばります。

「おすすめのもの」と「おすすめの理由」を1月6日(水) までに教育委員会事務局までお寄せください。 (様式は自由) F A X 可:33-3682

どんな一年だったでしょう

いものです。

ましたが、皆さんにとって

今年もあとわ

ずかとなり

今やらなくてはいけないこ

時の速さに流されぬよう、

そんな中私達は楽しみ、苦

しながら生活しています。 しみ、いろいろな事に挑戦

とを大切に頑張っていきた

第33回ふるさとづくりフォーラム 平成28年2月14日(日)開催 ※フォーラムはだれでも参加できます

戦争は国家が 空から見た戦争 - BROWN TO A REST TOWER. NAMES OF STREET

平和学習会(青木先生)

おさなごの拾ひし紅葉掌にあふる廃屋の柿の赤さや小鳥群る

山深きダム湖を染めて照紅橋と橋つなぐ岸辺や草紅葉 深きダム湖を染めて照紅葉

菊展や肩越しに見る新品種 (手入れ色づく木々の粧ほ ネの画に秋日おしみなく映 ~ 1) ゆ

山寺ので

榧の実眩し入日かなりて百舌鳥の高音や雨

村

山たか子

実眩し入日かな

秋雨に花びらひとつこぼれ 松茸の香りゆたかにゆうげ膳

ゆく

田

中

君子

星月夜ユー

モレスクの調べかな

松

葉

孝子

光りつつ駆けゆく子等や霜の朝

平とみ子

吾亦紅百寿の女恥ぢらひ

め

川てる子

落椿音なく闇の深みゆく 小春日や老の心の吹きだまり

(3) 平成27年12月16日

乙女瀧飛沫に光る紅葉かな

落葉舞ひ山

風渡る露天風呂

秦

恭子

癒さるるナースの笑顔秋一と日

虫の音の何

時かかぼそき月のかさ

小

林

カツ

とめどなき甕の鈴虫母の通夜

柘榴の実柄杓とも化すおままごと

栄信

原田さんは戦後その重荷

シーンでは、

美恵

場 文子

松尾萬里子

ガダルカナルでの戦いで被 ミッドウェー海戦ののち、 真珠湾攻撃に参加、さらに 母「蒼龍」の乗組員として

殺しパイロット」と罪悪感 敵機を撃墜させると、初め がて「零戦パイロットは人 は安堵、そして優越感、や の上からその実態を見、体 弾し九死に一生を得ます。 験した方です。原田さんは に苛まれるようになります。 洋戦争激戦の最前線で、 原田さんは、まさに太平 空

で卒業した原田さんは、空 霞ケ浦航空隊へ入隊し首席 さんの証言を映像にしたも 年九十九歳になられた原田 の軌跡』を見せていただき 乗員 原田要の一世紀 命 メンタリー映画『元零戦搭 力で上映可能となったドキュ 映画は、長野市在住で今 はじめに青木先生のご尽 士たちの心を癒し勇気づけ 郷列車のなかで荒んだ元兵 の姿だったこと、敗戦の帰 きに雲の中に見たのは母親 続けてこられます。 を背負いながら平和を追い たのは歌であったこと、ま 撃墜され墜落していくと

> 私が空から見た戦争の実態 になって体調も不安定だが、

の日本はおかしい。もう一 ように紹介されました。「今 ろえて言われたことを次の ばみんなが不幸

になり、み

んは「自分は、

戦争になれ

七十年の県立歴史館の企画

最後に青木先生は、戦後

ビューされたとき、原田さ が原田さんを訪ねインタ

んなが幸せになることはな

な語り部の皆さんが口をそ のなかで、原田さんのよう

いと体で覚えた。

九十九歳

場―」というテーマで行わ

史館の青木隆幸先生をお願 十五日(日)、講師に県立歴 平和学習会が、去る十一月

今年度第三回目の公民館

いして「空から見た戦争-零戦パイロット原田要の戦

地域に貢献されてきたこと 会長を勤め託児所を創設し、 た、公職追放という理不尽 を抱きながらも、地元自治 な扱いを受け国への不信感

> 加した罪悪を聴 ないように、私 を次の世代が味

の戦争に参

えてほしい。七十年前に二

度ちゃんと平和について考

わうことの

のです。

パイロットにあこが

思いを熱く 戦ったイギリ 語っています。 の生き様を通 再会を果たす の元兵士との スとアメリカ で敵として 経て、空の上 十数年の時を して平和への など波瀾万丈 また戦後五 いう贈り物の大切さを次の

再び戦争を起こさないため 最後に残された平和と いてもらい、 の尊さを教えられました。 り継ぐことの大切さと平和 話に、あらためて戦争を語 受けとめて広めておられる ことを忘れないでほしい。」 青木先生の熱意あふれるお メッセージと、その意思を 全霊を込められた平和への 度と戦争をしないと誓った 私たちは原田さんの全身

和について考えたいと思い た一九三〇年代の姿から平 日本が戦争に突入していっ 青木先生に講師をお願いし、 次回、二月の学習会も、

みなさん、ぜひご参加く

彩那さんもカネトの娘カナ

り、そして地域の歴史を知

る良い機会となりました。

カネトの生き方、

第一小学校五年生の原沙

して、夢や希望、

めの苦労や努力する姿を通

大きな仕事を成し遂げるた

合唱劇を観賞しました。

ト合唱団による素晴らしい

育館がいっぱい

となる中、カネ

公演が行われま

児童、保護者、

般の方々で体

カネト」の喬木

ニュースで、村の一年を振り返りたいと思います。(喬木村の一年は、果たしてどうだったのでしょうか?今年も、編集部が選んだ、二〇一五年の

55 り宗宗委員会



らづくり未来委員会より喬 喬木村総合計画の素案がむ 木村計画審議会に提出され 来年度から始まる第五次

> わたり健康で安心し すべての人が生涯に

が輝き未来につながる美し ました。 の基本目標にまとめ五つの 現に向けた取り組みに六つ 郷喬木』とし、将来像の実 見据え、村の将来像を『人 ブロジェクトを立ち上げる リニア・三遠南信時代を

> 生み出すむら 産業と雇用を交流で 全・安心なむら

環境にやさしく、

安

住みたいと思える生

て暮らせるむら

活環境の整ったむら

ぎ

第五次総合計画基本目標 ことになりました。

管 原 劇 「 力 2

・生涯、共に学び、誇りと 愛着を持ったグローバル な人材を育むむら 重点プロジェクト 進めるむら

つに協働と戦略的経営を 流と創造のプロジェクト とネットワークによる交 六十分で世界につながる 小さな拠点づくりの推進

村民と行政がおもいを

移住・定住促進(たかぎ 交通網活用プロジェクト に住もう) プロジェクト

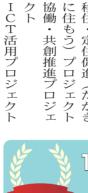
ICT活用プロジェクト

社会教育委員 小学校PTA、

(土)、喬木第一

六月二十日

による合唱劇 会、公民館共催



かるさとづくり 72-56 防災講演会

催されました。 さとづくりフォーラムが開 を会場に、第三十二回ふる ンターと第一小学校体育館 二月十五日(日)に福祉セ 行いました。

将来を考える良い機会になっ 信しました。みんなで村の たのではないかと思います を踊ってユーチューブで発 んなでベリー&ゴーダンス 村をアピールしようと、み もう一つは、元気な喬木

作り講演会が開催されまし 村づくり」をテーマに未来 ニア中央新幹線・三遠南信 自動車道の開通を見据えた 三月二十八日(土)、「リ 名の方が耳を傾けま をお願いし、約三百 未来への村づくり

くことが大事だと話 向きに取り組んでい ラテン系を目指し前 されました。 は、いつでも明るく

講師にはテレビでもおな

協大学教授の森永卓郎先生 じみの経済アナリストで獨

野球クラブ

と、昨年の九回優勝を上回

喬木少年

田下伊那の各地で行われる

十六大会の内十二回優勝





竣工しました。 の増改築工事が

手狭になっ

六月八日に

り、クラブ発足以来過去最 高の記録を達成しました。

十席が確保され

増築部分には

これは保護者や指導者の

はなく日常生活まで見直し の集中して練習に取り組ん 取り組んだこと、短時間で 努力したこと、野球だけで 皆さんと子供たちが一丸と だ結果であります。 なって目標に向かって日々

ものを様々なことに活かし てほしいと願っています。 だ勝つ喜びや練習で培った 今後も野球を通して学ん

TKG²となりました。



が同じことに着目し、通称 のアルファベットの頭文字 はんセット」を考案しまし た「たかぎのたまごかけご 美鈴さんが村内産にこだわっ 「喬木」と「卵かけご飯」

通実証運行検討委員会を設 島区、小川区、 高齢者数の多い下段地域(阿 拠点づくり検討委員会より け、平成二十六年度に検討 の必要性につい の地域)をまわる公共交通 してきました。 平成二十五年度に小さな 村では下段 伊久間区内 地域公共交 て提言を受

けでなく、災害時の対策室 KG[®] 配生

うゆは「マルタカしょうゆ」、 直前に精米するのだそうで 佐久市)の喬木農場産、しょ ます。卵は鶏卵品質共励会 米六〇〇グラムが入ってい うゆ一五〇ミリリットル、 米ははざかけ米三種で販売 ンエッグファーム(本社・ で最優秀賞を受けたブラウ 四角い箱には卵六個、しょ

てもらえればと願っていま 村名を村外の人に広く知っ



実証運行を開始

三月には検討





一つは、

換をワークショップ形式で 村づくりについての意見交 くり未来委員会との共催で と、むらづ

つの分科会で行われました。 め直そうということで、一 テーマに、村を今一度見つ 来は自分たちの手で~」を かぎ村再発見~たかぎの未 今回のフォーラムは、「た



昨年十一月より工事を 道改築工事竣工 位場庁舎

備えました。 としても使用できる機能を

行ってきた喬木村役場庁舎

内に移転された産業振興課 課に加え、総務課と本庁舎 高速交通対策課、企画財政 二階フロアーは建設課、

が配置されました。

がり、外観も一新されまし

ていた事務所スペースが広



地域おこし協力隊の下平

